

申請 詳細

印刷実行 枠線付与 印刷モード解除

[※]は入力必須項目です。

1時間以上経過すると入力データが消失します。画面下部にある一時保存ボタンで、入力内容をこまめに保存することをおすすめします。
04CANPAN団体IDの「参照」ボタンを押して、団体を検索・選択して下さい。

申請情報

01申請番号 12774
02ユーザID info@nicochan.jp 03申請状況 申請済み

CANPAN団体情報

04CANPAN団体ID	1626777542	05法人の種類	特定非営利活動法人
06団体名	ニコちゃんの会	07団体名ふりがな	えぬぴーおーほうじんにこちゃんのかい
08郵便番号	814-0153	09都道府県	福岡県
10市区町村	福岡市城南区	11市区町村ふりがな	ふくおかしじょうなんく
12詳細住所	樋井川6-37-8	13詳細住所ふりがな	ひいかわ
14電話番号	092-863-5903	15連絡先区分	事務所・勤務先
16連絡可能時間	9時00分～18時00分	17連絡可能曜日	月 火 水 木 金
18備考			
19FAX番号	092-862-0597	20連絡先区分	事務所・勤務先
21連絡可能時間	9時00分～18時00分	22連絡可能曜日	月 火 水 木 金
23備考			
24URLリンク名	団体ホームページ		
26メールアドレス	info@nicochan.jp		
27代表者氏名	森山 淳子	28代表者ふりがな	もりやま じゅんこ
29代表者役職	代表理事	30代表者兼職	
31設立年月日	1992年4月1日		

32設立以来の主な活動実績

当法人は、1992年に設立した任意団体ニコちゃん通信の会、1996年に設立した任意団体お遊び助っ人企画の想いを受け継ぎNPO法人として新たに設立した団体です。
ニコちゃん通信の会は、1992年に障がい児の親たちによって誕生しました。以来『障害児』の親ってけっこうイじゃん(ぶどう社)の出版、社会福祉事業団の助成を受けて作成した子育て支援マップ「らいふ」の発刊、学習会、後援会、ニコちゃんどんたく隊として祭りへの参加、ネットワークづくりなど幅広くさまざまな活動を実施してきました。そして全国に600人をこえる会員のみなさんとのつながりを持つことになりました。
ニコちゃん通信の会の設立時のメンバーの一人、森山淳子(当法人代表理事)は、1996年からニコちゃん通信の活動に合わせて、障がい児の親、健常児の親、子どもを亡くした経験のある親として、何かできることがあるはずと考えました。そして、「ハンディに関わらずこころ豊かな人生おくらよ」をモットーに余暇や遊び、文化芸術活動などの社会参加に特化したお遊び助っ人企画を設立しました。この活動では、年齢や障がいの区別なく一緒に遊び、関わりを持つ中で育まれていく豊かな瞬間(とき)を提供してきました。
当法人は、ニコちゃん通信の会やお遊び助っ人企画といった活動を経て、「どんなに病気や障がいが高くても、楽しく普通に暮らせるこころ豊かな人生を生き抜く」というスピリッツを受け継ぎ、設立しました。
○ニコちゃん通信の会
1992年～「ニコちゃん通信の会」設立
○お遊び助っ人企画
1996年 文化芸術活動・アウトドア活動等社会参加に特ノ

33団体の目的、団体の活動・業務

重い病気や障がいのある人とその家族、そして医療、介護を提供する人も含めたその周りにいるあらゆる人が互いに「こころ豊かに過ごす」ことができる社会をつくることを目的としています。
私たちは、「重い病気や障がいのある人、その家族はもちろん、自分たちも共に楽しく」を大切にしています。互いに笑って泣いて、慰め合って、時には叱って、喧嘩をすることもありますが、それが日常を共にする上では当たり前であり、おのおのがありのままに、こころ豊かであることを大切にし、活動に取り組んでいます。
【よかプロジェクト】
当法人独自の様々なイベントを企画して皆と豊かな時間を作ります。
その他にも、重い病気や障がいがあることで自分だけでは実現することが困難である非日常的な事柄をサポートするプロジェクトを行っています。(本人や家族の熱い想いや緊急性などを考慮して申し出のあった中から検討しています。)
【すっごい演劇アートプロジェクト】
日常に演劇・身体表現・絵画・音楽など様々なアート、そして人とのコミュニケーションを持ちこむアートプロジェクトです。精神的発達や社会性を育むことができる状況を作っていく活動や、芸術性を追求する活動など、アートを感受し共に創りだしていく中で豊かな心を持って「ひととき」の創出に取り組んでいます。
【@ (アット) ホームプロジェクト(障がい福祉サービス)】
実際に重い病気や障がいのある子どもと過ごした経験のあるスタッフを中心に居宅介護、ガイドヘルプ、相談支援を行います。

【啓発活動、研究開発】

ハンディの有無に関わらず、一人ひとりがあるのまに暮らしていける社会づくりの基礎となる活動です。

追加団体情報

34代表者略歴 1988年長女(重度心身障害児)出産1991年次女三女出産後長女を亡くす1992年重い障害のある子の親で構成されたニコちゃん通信の会発足通信誌や学習会等を通じネットワークの構築を目的に活動2009年発刊休止。1996年障害児・健常児の親・子どもを亡くした親この三つの経験を活かし障害に関わらず心豊かな人生送ろうよをモットーにお遊び助っ人企画を立ち上げ文化芸術アウトドア等を通して社会参加の場の提供に特化した活動をスタートする。2012年これまでの活動を集約し更に充実させ社会的意味のあるものにしていくため法人化

代表者の略歴を時系列で入力(学歴は不要)、255文字以内

35所管官庁

36所管官庁が「その他」の場合記入

37所管官庁局課名

所管官庁については、一般社団法人、一般財団法人、任意団体の場合、入力不要

38前年度決算総額

22,359,704

39前年度事業費総額

17,298,679

団体の支出総額を入力

決算総額のうち、事業費の総額

40役職員数

6

41業務(活動)日数

25

常勤の役職員数の合計を入力

月当たりの団体活動日数

42受益者数

43加盟団体

44会員数・単位

186名

45会費

正会員入会金20000円年会費10000円応援会員個人3000円法人10000円

利用会員・賛助会員など種類別に個人・団体をわけて入力

46団体の備考

団体名称や法人格の変更、団体の合併等があった場合、准認定・認定ファインドレイザー資格所有者がいる場合は入力(700文字以内)

担当者情報

申請内容の問い合わせができる方

47勤務先名

48部署・役職

郵送先が勤務先の場合のみ入力、自宅の場合は入力不要

49担当者氏名

森山 淳子

50氏名ふりがな

もりやまじゅんこ

51郵便番号

8140153

52都道府県

福岡県

53郡市区町村

福岡市城南区

54郡市区町村ふりがな

ふくおかしじょうなんく

55詳細住所

樋井川6-37-8

56詳細住所ふりがな

57電話番号1

092-863-5903

58連絡先区分

勤務先

61連絡可能曜日

月～金

62備考

電話がつながりやすい順に「電話番号1」及び「電話番号2」を入力

63電話番号2

090-8177-5042

64連絡先区分

その他

67連絡可能曜日

その他

68備考

69FAX番号

70連絡先区分

73連絡可能曜日

74備考

75メールアドレス

info@nicochan.jp

事業情報

76事業名

医療的ケアの濃厚な重い障害のある人と家族への支援

事業の実態を端的に表してください

77支援の柱

みんなのいのち

78継続ID

申請事業に最も当てはまるものを選択
する場合は入力

日本財団から助成を受けた事業を継続申請

79目的 医療的ケアの濃厚な重度心身障害児者(以下:本人)が利用できる宿泊施設が非常に少なく、家族の介護負担の軽減や事故や入院等緊急時にその施設を事実上利用出来ない状況が問題となっている。当法人が平成25、26年度に福岡市と実施した医療的対応の可能な宿泊施設に関する調査結果では、本人・家族からは「家のように安全で楽しく、日頃から関わっている人がいる場であることが望ましい」。しかし、医療者からは「家と同じような1対1の手厚いケアは病院ではできないため、本人の状態が悪くなることがあり、特に小児は預かることは難しい」とあった。本人・家族のニーズは現状ではほとんど叶えられておらず、数少ない医療対応のできる宿泊施設に満足している本人・家族は少ないと思われる。この現状から先のニーズに向けての改善を目的とする。

350文字以内で入力

80目標 福岡市との事業の中で、試験的に医療的ケアの濃厚な重度心身障害児者(以下:本人)2~37歳の4人を対象に、日頃から家に関わっている訪問看護事業所と当法人訪問介護部門の両者による宿泊事業を行った。現行制度になり形でいかに本人・家族のニーズを果たすことができるか検討した。今後福岡市にこの事業の結果を元とした改善策を講じてもらいたい。現状として、今日明日を困難な状況で生活している家族がある。子どもを預けられないことで母親の癌治療が遅れ、手遅れになったケースもある。医療ニーズの高い人たちの生活は、24時間365日2時間おきの体位変換や、吸引等の医療的ケアをきちんと行うことでその人なりの健康が保たれている。この事業後のアンケートの中に、家族からは「この子が生まれて10年間、一度も時間を気にせず過ごしたことがなかった。本人をよく知る人に預けたことで安心して、時間を気にせず過ごすことができた。」「何も気にせず眠れた。」とあった。また、8歳になる兄妹児からは「初めてお父さんとお母さんと回転寿司にいけた」とあった。この兄妹児は、これまで両親と8年間一度も出かけることが叶っていなかった。この4例を通し、更に“安心して楽しく宿泊できる施設”の必要性を実感した。現行制度上の受け皿では、今だ実現できていない「家のように安全で楽しく、日頃から関わっている人がいる場」という意見を叶えるため、在宅生活と同様にケアを行い、本人たちの安心できる楽しい時間の創出を実現する。本人・家族が心豊かに生活できる日常を目指し、そのためには実例を重ね、広く社会に実情と取り組みの必要性を伝え、認識を高めるための行動を継続する。

700文字以内で入力

81事業内容 医療的ケアの濃厚な人のお泊りの実施 時期 2015年4月~2016年12月 計4回
場所 福岡市内 訪問看護ステーションの一室および本人の希望により選定
対象者 医療的ケアが濃厚な児・者 内容 家族のレスパイトを兼ねて、本人の希望に沿った有意義な時間の創出

700文字以内で入力 必ず公式サイトの「申請の流れ」「インターネット申請の入力項目」の記入例をご参照下さい。

82事業成果物 イベント実施および報告書

255文字以内で入力 本事業で制作する予定の事業報告書(報告書、整備した物品の写真など)の名前を記入

85助成金申請額 3,050,000 86自己負担額 765,000

87事業費総額(自動計算) 3,815,000

助成金申請額、自己負担額(税込)は別に作成する収支予算と同じになるように記入

88登録者名 info@nicochan.jp 89登録日時 2014/10/31 15:15:07

90更新者名 info@nicochan.jp 91更新日時 2014/10/31 15:27:17

添付:申請書(Excel) [20141030_NPO法人ニコちゃんの会-2.xls](#)

「申請送信」ボタンを押す前に、「申請書(Excel)」を添付してください。ファイルは日本財団公式サイトに掲載されています。

1時間以上経過すると入力データが消失します。画面下部にある一時保存ボタンで、入力内容をこまめに保存することをおすすめします。